

令和8年3月13日

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
代表取締役社長 野崎 秀則

茨城県笠間市との共同提案が「脱炭素先行地域」に選定されました

株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎 秀則）は、茨城県笠間市と9社と共同で、環境省の「第7回脱炭素先行地域」に応募し、選定されました。本提案では、地域資源を活用した地域(笠間焼エリア)の脱炭素化による笠間焼産業の振興により、地域の脱炭素化と課題解決を図ります。

今回の「第7回脱炭素先行地域」では、18件の計画提案の応募があった中で、12件が選定されました。なお茨城県では、本提案がつくば市に続いて、2つ目の選定となります。

本事業では、伝統的工芸品「笠間焼」産業の持続可能性の向上を目指し、市が主体となって、笠間焼の地域における経済価値や環境価値の分析を行うとともに、原料調達、担い手育成、販売モデルの確立といった製造から販売までを一気通貫で支援する仕組みを構築します。具体的には、陶芸家を育成する修行モデル工房の ZEB 化や、空き家を再生可能エネルギー・省エネルギー仕様へ改修した工房への転用等を進め、作陶コストの削減と作陶環境の整備を通じて担い手の育成・確保を図ります。

さらに、廃棄物としての処分が課題となっている栗剪定枝を燃料とするバイオマスボイラを導入するとともに、副産物の灰を釉薬として活用するなど、資源循環型のものづくりを推進します。これにより、環境配慮を強みとした笠間焼の高付加価値化と、主要産業である栗農家の処理負担軽減を同時に実現します。

その中で当社は、本事業において、地域の脱炭素化を実現するための計画策定や設計等だけでなく、太陽光発電による PPA 事業や、官民連携による地域エネルギー会社へ参画し、脱炭素を起点とした地域活性化と伝統産業の持続可能性向上に貢献してまいります。

【脱炭素先行地域とは】

「脱炭素先行地域」とは、2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴う CO2 排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてその他の温室効果ガス排出削減についても、我が国全体の 2030 年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域です。2025 年度までに日本全国で少なくとも 100 か所の脱炭素先行地域を選定することを目指しており、今回の「第7回脱炭素先行地域」までに 102 件が選定されています。

